

# 基金総額は251億7千万円

## 財政調整基金146億円、まちづくり基金22億円など

2015(平成27)年度の決算報告によると、この3月末の上越市の基金(いわゆる積立金)の総額は251億7千万円にのぼることが明らかになりました。このうち、これまで指摘してきたとおり、市の裁量で自由に使える積立である「財政調整基金」が約146億1千万円あるほか、「市の一体

感の醸成を図る事業などに充てる」とする「まちづくり基金」が22億7千万円、「各地域自治区における地域振興等を図る事業に充てる」とする「地域振興基金」が40億円、国民健康保険会計と介護保険会計の財政調整基金が合計で約17億4千万円などとなっています。<詳細は右表>

これらのうち、一般会計の財政調整基金は、今後の地方交付税交付金の削減に備えるためとしていますが、交付税は減ることを前提にするのではなく、全国の自治体とも力を合わせて減らさせない運動をさらに強めるべきです。また、「将来への価値ある投資」との名目で計画されている大型施設の建設事業やその維持管理費にまわされ、市民の暮らしを支えるものとはならない恐れもあ

ります。ここ数年、市民向けサービスは福祉関係予算を中心にかなり切り詰められ、加えて公共施設の利用料や放課後児童クラブ利用料など市民負担はますます重くなってきています。こうしたことを背景にしての膨大な積立です。今必要なことは、こうしたため込みをせずに、まず市民の負担を減らし、サービスを充実させて、暮らし

を豊かにすることです。国保会計や介護保険会計の財政調整基金は、市民の皆さんからの血のにじむような保険税や保険料の中から捻出された積立です。保険税や保険料が重い負担になっていないのならばともかく、「払いたくても払えない」市民も少なくない中、積み立てるのではなく、保険税や保険料の軽減にこそ活用すべきです。

# カニ池交差点で70人が平和の訴え

昨年の「戦争法」強行採決から1年となった19日、「日本を戦争する国にする法律は一刻も早く廃止に」を合い言葉に、70人がカニ池交差点に集い、スタンディングで道行く人に訴えました。

わった後でも盛り上がり衰えず、常に多くの市民を巻き込んでの幅広い抵抗運動になっていることです。また、労組や政党には属していないごく普通の市民の皆さんが、運動の中心になっています。このことが底の深い大きな力になっています。

この運動の特徴は、法律の強行採決や国政選挙が終

## 日本共産党上越市議員団ニュース

No. 516 2016年9月25日

連 橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)  
 絡 橋本 正幸 080-1980-9855 (三和区鴨井)  
 先 上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)  
 平良木哲也 090-1808-6919 (上中田)



単位：千円

		平成27年度末 現在高(B)
積立基金	財政調整基金	14,616,434
	減債基金	840,447
	火力発電所立地関連地域振興基金	337,138
	みどりの基金	0
	社会福祉施設整備基金	406,891
	住宅新築資金等基金	0
	ふるさと保全基金	10,200
	災害対策基金	24,315
	文化・スポーツ振興基金	0
	勝馬投票券場外発売所立地関連地域振興基金	59,495
	まちづくり基金	2,276,850
	三和ケーブルテレビ施設整備基金	0
	浦川原区における浄化槽整備基金	0
	清里区及び名立区における教育施設整備基金	0
	吉川区における市道米山線整備基金	0
	地域振興基金	4,000,000
	八千浦交流館はまぐみ維持運営基金	20,674
	旧上越地方広域事務組合承継事務基金	0
	歴史的建造物等整備支援基金	86,472
	地域経済活性化・雇用創出基金	0
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金	70,969	
水族博物館整備運営基金	278,423	
計	23,028,308	
定額運用基金	高齢者等肉牛飼育モデル事業基金	3,388
	奨学基金	137,612
	上越学生寮奨学基金	200,000
計	341,000	
特別会計	国民健康保険財政調整基金	1,122,571
	介護保険財政調整基金	622,320
	地球環境財政調整基金	3,768
	頸城区における生活排水施設整備基金	52,801
計	診療所財政調整基金	54
	計	1,801,514
合計		25,170,822